

令和3年度 福島市予算

～新たな復興創生ステージのスタート～

令和3年度予算の総額は1,920億890万円になりました。

新年度は東日本大震災から10年が経過し、第2期復興・創生期間の初年度、新しい総合計画がスタートする節目であることから、10年先を見据えた10本の重点施策を柱として、最優先課題である新型コロナウイルス感染症対策とコロナ後を見据えた変革を第1の柱に、時代を反映した新たな行政需要に予算を重点配分した過去最高の積極型予算です。

■問／財政課 ☎525-3704

令和3年度主要施策 10年先を見据えた 10の重点 プロジェクト (主な新規事業)

子どもたちの未来へ

- 待機児童対策推進パッケージ……………1億9,874万円
(保育の受け皿の拡大、保育士の確保、保育の質の向上を図り、待機児童解消と保育環境整備を推進)
- 子ども・子育て新ステージ2020推進事業…6億1,535万円
(特色ある幼児教育・保育の推進、給食への本市産農産物の使用拡大、給食費の負担軽減など)
- 福島型オンライン授業……………4億2,851万円
(ICT機器を活用した授業により情報活用能力を育成)

『エール』遺産を活用した『古閑裕而』のまちづくり

- 古閑裕而ゆかりのまちサミットの開催……………1,500万円
(古閑裕而氏の功績や音楽を活かした新たなまちづくり交流)
- エールレガシー事業……………4,218万円
(連続テレビ小説『エール』により認知された本市の魅力を継続的に発信)
- 古閑裕而のまちおもてなし事業……………3,536万円
(古閑氏をきっかけに本市を訪れた方へのおもてなしの充実)

風格ある『県都ふくしま』

- クリエイティブビジネスサロン整備事業……………7,350万円
(コワーキングスペース、サテライトオフィスなどを整備)
- ふるさと納税促進事業……………4億3,229万円
(賛同と共感を得ながら、本市へのふるさと納税を促進)
- 福島駅東口地区市街地再開発事業……………22億490万円
(福島駅東口周辺の再開発事業を官民連携で実施)
- 写真美術館リニューアルオープン……………4,907万円
(写真美術館のリニューアルオープンと管理運営)

まちのにぎわいと魅力ある産業の創出

- 新まちなか広場整備事業……………4億6,562万円
(にぎわい・市民交流・回遊軸の拠点、防災広場として整備)
- 「(仮称)道の駅ふくしま」の整備……………6億8,920万円
(外構・建築工事、開業に向けた準備)
- クリエイティブチャレンジ支援事業……………2,500万円
(空き店舗利用の賃料、リノベーション費用などを一部補助)
- スイーツ・プレミアム事業……………1,500万円
(本市農産物などを活用したスイーツのブランディング)
- アフターコロナ訪日観光客受入環境整備事業……………900万円
(アフターコロナを見据えたインバウンド受入体制整備)

新型コロナ対策とコロナ後を見据えた変革

- 感染防止対策……………9億7,965万円
(医療・ワクチン接種・検査体制の充実、施設における感染防止対策など)
- 市民生活支援……………7,899万円
(情報発信や相談体制の充実、妊産婦支援体制の強化など)
- 地域経済対策……………4億5,947万円
(事業継続や中心市街地での事業展開、コロナ対応イベントの支援など)
- コロナ後を見据えた変革……………3億8,037万円
(新しい生活様式やビジネスモデルの定着、手続きや業務のデジタル化)

安全安心なまちづくり

- 水害対策パッケージ……………5億333万円
(防災情報の発信力強化、河川や水路の整備など)
- 「ごみ減量大作戦」第3次展開……………2,200万円
(ごみ減量20%を目標に、ごみの減量化・資源化を推進)
- 除去土壌搬出等推進事業……………42億1,600万円
(除去土壌の仮置場への搬出など)
- 福島消防署清水分署の整備……………2億7,909万円
(福島消防署清水分署新庁舎の建設工事)
- 地域医療確保対策……………3億4,774万円
(市民医療体制の確保と地域医療の充実強化)

オリンピック・パラリンピックと遺産の創出

- 東京2020大会開催関連事業……………1億5,955万円
(大会期間中のおもてなし事業、合宿支援、ホストタウン交流など)
- スポーツによるまちづくり……………11億7,197万円
(スポーツ施設の整備、スポーツ合宿や大会の受け入れのワンストップ窓口である「スポーツコミッション」の運営など)

いきいきと暮らせる共生社会の形成

- バリアフリー推進パッケージ……………4,957万円
(まち歩き点検、パセオ通りと県庁通りの点字シート整備、バリアフリーマップの更新など)
- 外国の子ども日本語サポート推進事業……………280万円
(日本語ポーター・母語支援員の派遣、放課後教室などの実施、日本語教室で使用する教材購入費用を一部補助)

人生100年時代を見据えた健康づくり

- 健都ふくしま創造事業……………2,141万円
(地域や職場から、市民主体の健康づくりの推進)
- 高齢者生涯活躍プロジェクト事業……………116万円
(介護現場での就業体験、高齢者・企業への雇用に関するニーズ調査など)

市政運営の新ステージ

- 共創のまちづくりの推進……………204万円
(共創のまちづくりの普及啓発、モデル事業の実施)
- 公共施設予約システムの導入……………7,841万円
(キャッシュレス決済を含む公共施設の予約システムをスポーツ施設や文化施設などへ導入)

予算の規模

一般会計 **1,123億円**

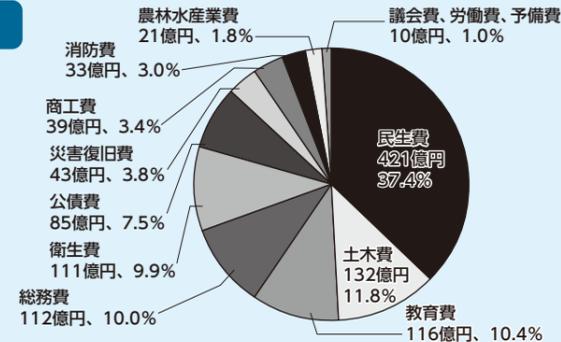
※市民一人当たり 407,754円

特別会計 **561億円**

事業会計 **236億円**

一般会計とは、医療福祉や教育、道路整備など、全ての市民の暮らしに密接した事業を行う基本的な会計です。

歳出



【民生費】

子育てと保健・医療・福祉に
421億円(37.4%)
市民一人当たり 152,738円

【土木費】

道路や橋、河川など都市環境
の整備に
132億円(11.8%)
市民一人当たり 47,965円

【総務費】

市の行財政の運営に
112億円(10.0%)
市民一人当たり 40,661円

【衛生費】

健康で衛生的な暮らしのために
111億円(9.9%)
市民一人当たり 40,374円

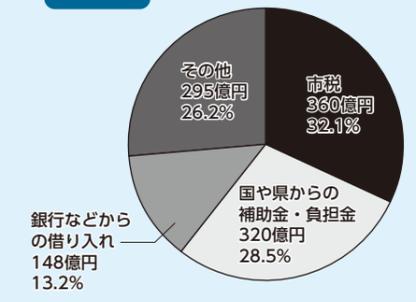
【商工費】

元気あふれるまちと産業のために
39億円(3.4%)
市民一人当たり 13,990円

【消防費】

生命と財産を守る活動に
33億円(3.0%)
市民一人当たり 12,134円

歳入



【教育費】

教育と文化・スポーツの
振興に
116億円(10.4%)
市民一人当たり 42,259円

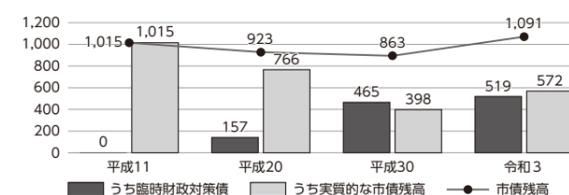
【災害復旧費】

災害からの復旧に
43億円(3.8%)
市民一人当たり 15,490円

【農林水産業費】

安全でおいしい食料の生産に
21億円(1.8%)
市民一人当たり 7,524円

市債残高の推移



市有財産の状況(令和2年3月31日現在)

土地	10,631,490㎡	車両	489台
山林・原野	17,122,879㎡	証券その他権利	277億1,300万円
建物	981,550㎡	基金	266億1,000万円